



第4回ロータリーアジア親善会議報告

パストガバナー 岡村 俊一（鹿児島）

1. ロータリーアジア親善会議について

第1回は1989年3月22日、23日台北西ロータリークラブのホストで台北で、第2回は1990年5月1日、2日255地区鹿沼ロータリークラブのホストで東京で、第3回は1991年5月12日、13日ソウルロータリークラブのホストでソウルで、そして今回は去る3月28日、29日フィリピン会議組織委員会の主催でマニラ市で開催されました。

ロータリー・アジア親善会議は1988年3月マニラ市で開かれた他国間友情フォーラムを母体として、フィリピン、台湾、韓国そして日本の四ヶ国の奉仕活動のリーダーが地域内の世界社会奉仕をはじめR1の諸プログラムを親善と

奉仕を通じて促進するために企画されました。私は、たまたま第1回の1989年地区ガバナーで又、ホストクラブが鹿児島ロータリークラブの姉妹クラブであり、且つ原則的に英語で報告すると云うことから第1回から今回まで日本のロータリーの現況、ならびに世界社会奉仕についての報告者として参加して参りました。

第1回の時から4ヶ国に限らずアジアの諸国に拡大すると云うことでしたが、今回ようやくマレーシア、シンガポール、タイ国がオブザーバーとして参加しました。

日本の国内委員会は菅野多利雄R1元理事を委員長に7名の委員で構成され、私はその委員となっています。

此の会議は組織の母体がフィリッピンに対する援助の促進を主議題とするフォーラムであった関係上アジア諸国にたいする世界社会奉仕特にフィリッピンに対する奉仕活動が主議題になる傾向にありました。

しかし、フィリッピンに対する奉仕活動を円滑にするための作業部会の結成に努力していますが、現代までその目的を達するに至っていません。又日本のガバナー会より正式に国内委員会が認められていますが、当地区は勿論、日本国内でも残念乍ら十分認識されていないのが現状です。世界社会奉仕だけについて云えばR IにWCSの委員会があり、アジア地区の委員長は服部禮次郎P. G.です。したがって此の親善会議独自に活動するのではなく、広い分野でアジア地域の国々の相互理解により親善を通して奉仕活動を促進する目的です。

当地区で井上ガバナーの提唱で世界社会奉仕の促進を期待していますが、世界社会奉仕の実践活動についての諸問題とアジア地域のロータリーの活動を知り、それ等の国のロータリーとの友情を深めるのに大きく役立つとおもいますので、今後1人でも多くの地区のロータリアンが関心をもち、参加していただきたいと思ます。

2. 第4回ロータリーアジア親善会議

日 時 1992年3月28日・29日

場 所 フィリッピン、マニラ市 マニラホテル

ホスト フィリッピン組織委員会（委員長R I元副会長Mr. Francisco C・Delgado）

参加者 日本27名、台湾15名、韓国15名、フィリッピン150名

主要議題

(1) 各国のロータリーの現況

日本については私が報告

(2) R. I. の親善プログラム

① 青少年交換

② ローターアクト交換

モデレーター中島治一郎P G

③ G S E

④ 友情交換

引続きオープンプログラム

(3) WCSプログラム

日本の現状について私が報告しました。なおオープンフォーラムで日本の米山記念奨学金について熱心な質問が多く私に寄せられました。

又ローターアクトの交換、G. S. E. 青少年交換について多くの希望が寄せられましたが中島P Gと共にフィリッピンとの実施については治安上の点から慎重にならざるを得ないと答弁せざるを得ませんでした。

なお本会議で菅野日本側委員長よりガバナー会から託されたフィリッピンの災害への義損金の贈呈式がありました。

3. その他

マニラの会場では同時通訳もなくすべて英語でしたので、国際的会議として課題を残しました。

次回は来年台湾の予定でしたが1994年の台北の国際ロータリーの年次大会を控えているので1994年台湾で開催することになりました。